

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和05年01月16日

計画の名称	桐生市における安心して暮らせるまちづくりのための下水道整備（重点計画）											
計画の期間	令和05年度～令和09年度（5年間）										重点配分対象の該当	○
交付対象	桐生市											
計画の目標	市民が安全で安心して暮らせるよう台風や集中豪雨被害への対策として、都市浸水被害に資する施設整備を行う。											
全体事業費（百万円）		合計（A＋B＋C＋D）		330	A	330	B	0	C	0	D	0
効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）										0	%	

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5当初	R7末	R9末

A 基幹事業																							
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況				
		一体的に実施することにより期待される効果																					
		備考																					
下水道事業	A07-001	下水道	一般	桐生市	直接	桐生市	管渠（ 雨水）	新設	広沢排水区他（A1-1）	雨水渠700×700～2,100×2,100 L=600.0m	桐生市	■	■	■	■	■	265		-				
	A07-002	下水道																					

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R05				
配分額 (a)	24				
計画別流用増 減額 (b)	1				
交付額 (c=a+b)	23				
前年度からの繰越額 (d)	21				
支払済額 (e)	29				
翌年度繰越額 (f)	15				
うち未契約繰越額(g)	3				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	6.81				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

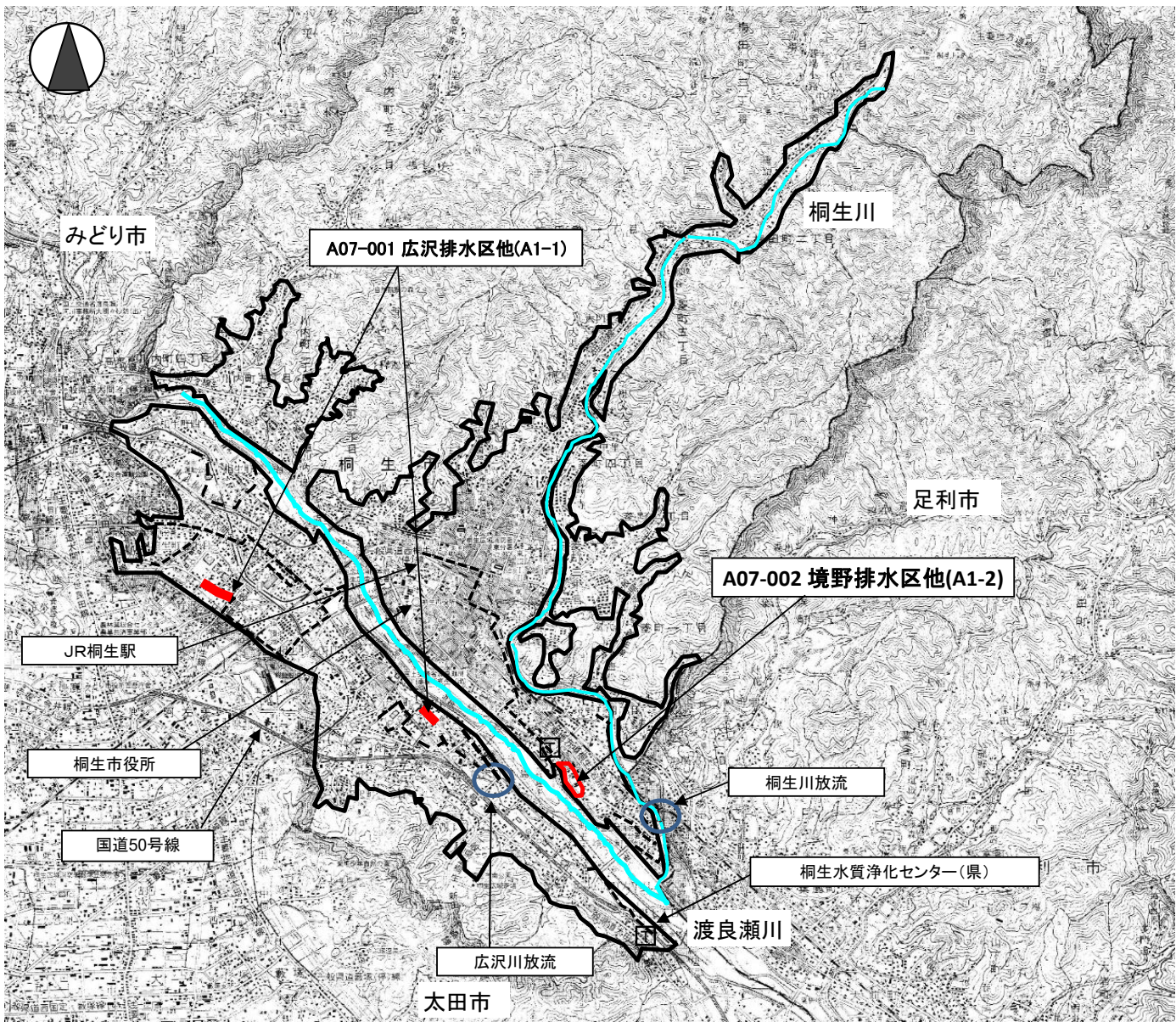
事前評価チェックシート

計画の名称： 桐生市における安心して暮らせるまちづくりのための下水道整備（重点計画）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 構想・計画等の適合	
I. 目標の妥当性 1) 効果的な都市浸水被害軽減に資する計画となっている。	○
I. 目標の妥当性 2) 法律等に基づき、適切な計画となっている。	○
I. 目標の妥当性 計画	
I. 目標の妥当性 1) 中・長期的な視野にたち、地域の実情にあった効率的かつ効果的な計画となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 4) ハードとソフトの両面においてバランスのとれた計画となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性、円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 1) 事業の優先度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 2) 集中豪雨被害への対応に重点が置かれている。	○

計画の名称	桐生市における安心して暮らせるまちづくりのための下水道整備(重点計画)		
計画の期間	令和5年度～令和9年度(5年間)	交付団体	群馬県桐生市

桐生市(A1-1,2)(広沢排水区他、境野排水区他)計画図



A1-1, 2
(桐生市)



凡例(色分け)

■	雨水幹線
■	合流改善

凡 例

	下水道法による事業計画区域
	既設幹線